

## 次期西部圏域振興計画「中期プラン」(案)

(目指すべき10年程度先の姿と主な施策の方向性)

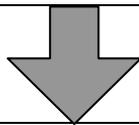
- 1 観光・移住・交流によるにぎわい創出
- 2 豊かな地域環境の未来への継承
- 3 安全・安心な地域づくりの推進
- 4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現
- 5 ”強み”を活かした地域経済の発展

圏域振興を進めるにあたって、重点的に取り組む事項の  
目指すべき10年程度先の姿と、それに向かって取り組む  
主な施策の方向性を記載しています。

## 1 観光・移住・交流によるにぎわい創出

### (目指すべき10年程度先の姿)

- 2025年大阪・関西万博や2027年ワールドマスターズゲームズ関西の開催を契機として、「にし阿波」の魅力が国内外に一層広まり、インバウンドをはじめとする多くの観光客でにぎわっています。
- 豊かな自然・文化や日本農業の原点とも言える「世界農業遺産」など、にし阿波の魅力の詰まったコンテンツとともに、心のこもった”おもてなし”は国内外から多くの人びとを惹きつけ、「また訪れたいくなる」観光地として広く認知されています。
- 雄大な自然や豊かな風土、また、ここでいきいきと働き・暮らす人々は多くの人びとを魅了し、移住や交流人口が増加しています。
- 高速交通ネットワークや、観光地へのアクセス道路の整備が進み、観光・交流人口が大幅に増え、地域のにぎわいが創出されています。



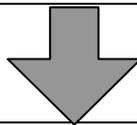
### (主な施策の方向性)

- ◆ DMO「そらの郷」が舵取り役となり、地域が一体となった持続可能な観光地域づくりを推進します。
- ◆ 「観光圏」、「SAVOR JAPAN」、「世界農業遺産」のトリプル認定をはじめ、にし阿波の「人・食・自然・文化」を織り込んだコンテンツの拡充を図るとともに、ガストロノミーツーリズムやサステナブルツーリズムなどニューノーマルに対応した新たな観光コンテンツを創出します。
- ◆ 県内各圏域、四国、瀬戸内、関西で形成されるDMOやJNTO（日本政府観光局）と連携した広域周遊観光を推進するとともに、地域が一体となった戦略的なプロモーションにより、にし阿波の魅力を国内外に向け広く発信します。
- ◆ 観光関連施設のDX化を推進し、観光客の快適性、利便性、満足度の向上につながる観光客受入環境づくりを進めるとともに、観光人材の発掘・育成に取り組みます。
- ◆ サテライトオフィスの誘致に向け、豊かな自然環境や就農環境を組み合わせ、にし阿波ならではの働き方やワーケーションを推進するとともに、地域内外の多様な「ヒト、モノ、情報」が交流する機会を創出します。
- ◆ 2市2町や地域の関係団体と連携し、移住者への「暮らし」・「仕事」・「地元とのつながり」をサポートするとともに、にし阿波の魅力的な移住環境を広く発信します。
- ◆ 徳島自動車道における暫定2車線区間の4車線化の促進や「にし阿波」観光圏へのアクセスルートの整備を推進し、安全で快適な移動経路の確保を図ります。また、四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の開通や四国新幹線の導入といった広域にわたる高速交通ネットワークの構築を促進し、観光客等の利便性向上を図ります。

## 2 豊かな地域環境の未来への継承

### (目指すべき10年程度先の姿)

- 「日本の宝」剣山国定公園の魅力を地域が一体となって磨き上げることで、豊かな自然が保全され、美しい自然景観が国内外の多くの人々を惹きつけています。
- 人と野生鳥獣の適切な共生が実現し、豊かな自然の恵みを楽しむ人が増えています。
- 捕獲鳥獣を活用した「阿波地美栄<sup>あわじびえ</sup>」が、地域のブランド食材として安定的に供給され、一般家庭でも年間を通じて食されるなど、地域の食文化として定着しています。
- 「森林環境税」を活用した「新たな森林管理システム」の円滑な運用により、森林が適正に管理され、豊かな森林がしっかりと引き継がれています。
- 地域の林業・木材関係者等が連携し、森林資源を「伐って」、「使って」、「植える」循環型林業が確立しています。
- 「木育」の普及啓発により、森林資源を有効活用する気運が高まるとともに、その利用が進んだ地域となっています。
- 住民や事業者の環境意識やモラルの醸成により、良好な生活環境が保全されています。



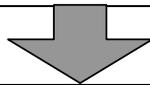
### (主な施策の方向性)

- ◆「剣山国定公園」の豊かな自然環境を次世代に継承するため、「剣山国定公園地域連携協議会」を核に、地域が一体となった自然保護活動や自然保護を担う新たな人材育成、登山道の点検・保守による登山者の安全・安心対策を推進するとともに、「剣山ファン」の更なる拡大に向け、剣山の魅力を広く発信します。
- ◆剣山国定公園周辺でのニホンジカの被害拡大を未然に防ぎ、登山道の崩落防止や植生保護を図るため、新規狩猟者の確保や食害防止柵の管理などを推進します。
- ◆農業被害防止のため市町が策定した「鳥獣被害防止計画」の円滑な実施に向け、野生鳥獣の捕獲活動などを支援するとともに、ニホンジカやイノシシなど捕獲した野生鳥獣を「にし阿波の自然の産物」として食肉処理加工を推進し、「ジビエ料理」の普及・定着を図ります。
- ◆適切な森林環境を創出するため、路網整備や高性能林業機械の導入、ICT技術の活用など、地域の林業事業者が事業推進に積極的に取り組めるよう支援します。
- ◆「にし阿波循環型林業支援機構」と連携し、造林面積の拡大と事業の更なる充実を図ります。
- ◆未来を担う子どもたちを中心とした幅広い世代に「木育」を推進します。また、地域に豊富に存在する木質資源をチップ、ペレット、薪などへの利用拡大を推進し、森林資源の有効活用を図ります。
- ◆産業廃棄物の適正処理や浄化槽の適正な維持管理などの推進のため、事業者への計画的な監視指導や環境に関する講座等の開催により、にし阿波の良好な生活環境の保全に向けた意識の醸成を図ります。

### 3 安全・安心な地域づくりの推進

#### (目指すべき10年程度先の姿)

- 土砂災害や地震、大雪などあらゆる自然災害の脅威に対して、進化するDXを最大限活用することにより、被害が未然に防止され、にし阿波のどこで暮らしていても安全・安心が確保されています。
- 森林の適切な管理が進み、水源かん養や土砂流出の防止など森林の果たす災害防止機能がしっかりと発揮されています。
- 西部防災館を核とした「西部健康防災公園」が、広域的な防災拠点、後方支援活動拠点として、受入体制を確立し、平時は防災啓発拠点として地域の人々に広く活用されています。
- 住民の防災意識が高まり、自主防災組織を核とした防災活動が活発に行われ、災害発生時の避難や救出救助活動、地域住民主体の避難所運営などが円滑に行える体制が整っています。
- 大規模災害や健康危機事象の発生時に、医療・保健衛生・薬務・介護福祉分野の支援を迅速かつ適切に提供できる体制が確立されています。
- 家畜伝染病発生時に備え、平時より市町や関係機関と連携を密にした家畜防疫体制が確立されています。
- 持続可能な社会の実現にも通じるエシカル消費が県民生活に定着するとともに、県民が自立した消費者として合理的な意思決定を行い、消費者被害を未然に防止できる社会が実現しています。
- 高齢者等の車を運転しない方の買い物・通院など日常生活に必要な移動手段が確保されています。



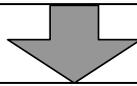
#### (主な施策の方向性)

- ◆災害予防対策や地域防災力の向上、孤立化対策の強化など「にし阿波の強靱化」に向け、防災におけるDXを推進し、ハード・ソフトを組み合わせた効果的な施策を展開します。
- ◆大雪等の影響により生じた倒木が救助や復旧活動の妨げとならないよう、生命線道路や緊急輸送道路において通行に影響を及ぼす倒木を防ぐ事前伐採を推進します。
- ◆安全・安心に寄与する森林の働きを高めるため、整備が不十分な森林を減らすよう積極的な整備を推進します。
- ◆「西部健康防災公園」の拠点機能を活かし、自衛隊、警察、消防などの広域応援部隊の受入体制や物資搬送体制の強化を図ります。
- ◆地域の災害特性に応じた防災講座、訓練等を実施し、住民の防災意識や対応能力の向上、自主防災組織の活性化を図ります。
- ◆災害時コーディネーターをはじめ災害医療や保健衛生等に係る人材育成や関係機関の連携強化により、健康危機管理体制の充実を図ります。
- ◆高病原性鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫などの家畜伝染病発生時の防疫措置を、迅速かつ的確に実施できる体制を強化します。
- ◆エシカル消費の普及や消費者被害防止に向けた消費生活全般にわたる啓発を実施するとともに、持続可能な農業の象徴でもある「世界農業遺産」を活用したSDGs教育を推進します。
- ◆地域公共交通を確保・維持するため、「次世代地域公共交通ビジョン」を羅針盤に、住民の「乗ってのこす」意識の醸成に努め、市町、交通事業者、地域住民等と連携し、利用促進に向けた取組みを支援します。

## 4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現

### (目指すべき10年程度先の姿)

- 誰もが子育ての喜びを実感できる社会の実現に向け、地域全体で子育て支援に取り組み、すべてのこどもが安心・安全で健やかに成長できる「こどもまんなか社会」の構築が着実に進行しています。
- 誰もが共に支え合い、助け合う「地域共生社会」が実現し、生活困窮者が減少し、認知症高齢者や障がい者、ひとり親家庭など誰もが住み慣れた地域で、より安心して生活しています。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、在宅医療や介護サービスなどの支援体制の充実が図られるとともに、それまでに培ってきた知識、経験、能力を活かして、高齢者が様々な分野で活躍しています。
- 障がい者が地域の中でいきいきと暮らせるよう、障がい者の支援拠点を核として、相談支援や就労支援などの地域サポート体制が整っています。
- 障がいの有無にかかわらず、誰もが身近にスポーツを楽しめる環境が整うとともに、住民の運動習慣の定着や食生活改善、受動喫煙防止に向けた健康意識が向上するなど、「西部健康防災公園」を中心に、「にし阿波」が健康づくりの先進地域となっています。
- 自殺は誰にも起こりうることとして認識され、心の悩みを気軽に相談できる環境づくりが進み、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会が実現しています。
- 地域に関わる多様なテーマを、高齢者・障がい者・子育て世代等、誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる場が増え、生きがいづくりや地域活性化につながる生涯学習が行われています。



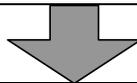
### (主な施策の方向性)

- ◆妊娠・出産・子育てをサポートする相談支援をはじめ、地域全体で協働して子育てを支援する「チーム育児」を推進するとともに、発達障がい児への支援体制の充実や、児童虐待防止・DV防止に向けた取組みの強化を図ります。
- ◆生活困窮者の自立に向けたサポート体制の充実を図るとともに、地域全体で認知症高齢者や障がい者、ひとり親家庭等を支えていく環境づくりを推進します。
- ◆高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の更なる深化に向け、市町の取組みを支援するとともに、社会貢献活動などを担う高齢者を育成することで、アクティブシニアが活躍する「生涯現役社会」の実現を目指します。
- ◆障がい者が安心して暮らせるよう、障がい者を支える団体の活動を支援し、就労支援体制の充実や人材育成を図るとともに、障がい者就労の促進に向け、にし阿波ならではの地域資源を活用した農福連携の取組みを推進します。
- ◆「西部健康防災公園」をフィールドに、「にし阿波・パラスポーツ推進協議会」を活動母体として、パラスポーツの普及や裾野の拡大を図ります。
- ◆運動習慣やバランスの取れた食生活の定着、受動喫煙のない社会の実現に向けた普及啓発などを通じて、「糖尿病」や「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」をはじめとする生活習慣病対策の充実を図ります。
- ◆心の健康に関する啓発活動を行うとともに、地域でサポートできる人材を育成することにより、相談支援体制の充実を図り、自殺予防に向けた「こころの健康づくり」を推進します。
- ◆市町や高等教育機関等と連携し、ニーズに合った様々な講座を企画するとともに、オンラインも活用し、学びの機会の充実を図ります。

## 5 ”強み”を活かした地域経済の発展

### (目指すべき10年程度先の姿)

- 「世界農業遺産ブランド認証品」などの様々な「にし阿波」の地域資源を活用した6次化商品が開発され、国内外に販路が拡大しています。
- データ解析による栽培管理の最適化、アシストスーツによる軽労化など、スマート農業の実装が加速し、生産性が向上しています。
- いちごやぶどう、夏秋なすやブロッコリー、菜の花、プロイラーなどの多彩な農畜産物が地域の特産品としてブランド化が進み、もうかる農業が実現しています。
- 食の安全・安心や環境負荷の低減に対する生産者の意識が高まり、「みどりの食料システム戦略」に沿った環境負荷低減と生産力向上が両立する持続可能な農業が営まれています。
- 新規就農者をはじめ、「にし阿波」の産地を支える多様な担い手が活躍し、地域農業が活性化しています。
- ドローンやGISを活用した森林資源の把握や、大径材に対応可能な機械化や路網整備、加工技術が一層進み、林業事業体の経営が安定し、若者を中心に林業従事者が増加しています。
- 2025年大阪・関西万博を契機として、数多くの特産品が国内外から高く評価され、観光客はもとよりインターネットでの販売も増加し、順調に販路を拡大しています。
- 豊かな自然や高速通信インフラを活かした、にし阿波ならではのフレキシブルな働き方が認知され、サテライトオフィスの進出が増加しています。



### (主な施策の方向性)

- ◆農業の6次産業化の取組みを推進し、これらの商品や農畜産物の販売を促進します。
- ◆スマート農業に取り組む農業者を育成するため、ICT技術などの研修や実装に向けたモデル事業に取り組みます。
- ◆ブランド品目等の生産拡大や新技術の導入による園芸産地の育成・強化を進めるとともに、生産規模に応じた多様な農業経営体の育成に取り組めます。
- ◆農産物フェアの開催や農作物の栽培支援を行うことにより、産直市の活性化を促進します。
- ◆にし阿波で生産される農産物の安全・安心の価値を高めるため、化学肥料や化学農薬の使用低減など、環境に優しい農業の取組みを支援します。
- ◆地域農業・農山村集落の活性化や持続的な保全を図るため、新たな就農希望者等に対する農業技術研修等のニーズに合わせた支援を行うとともに、農業生産基盤・農村生活環境基盤の整備や長寿命化を推進します。
- ◆地域の林業事業体の生産量増大と生産性向上を図るため、路網整備や機械の導入を支援するとともに、地域の林業・木材関係者等と地元高等学校等が連携することにより、担い手確保を推進します。
- ◆にし阿波ならではの食や製造品を、世界に通用する特産品に磨き上げるとともに、「千年のかくれんぼブランド」の認定や国内外への戦略的な情報発信、地域内外のバイヤーとの商談機会の創出等を通じ、販路拡大を図る事業者を支援します。
- ◆サテライトオフィスの誘致に向け、豊かな自然環境や就農環境を組み合わせた、にし阿波ならではの働き方やワーケーションを推進するとともに、地域内外の多様な「ヒト、モノ、情報」が交流する機会を創出します。